

第2章 伊達市の現状

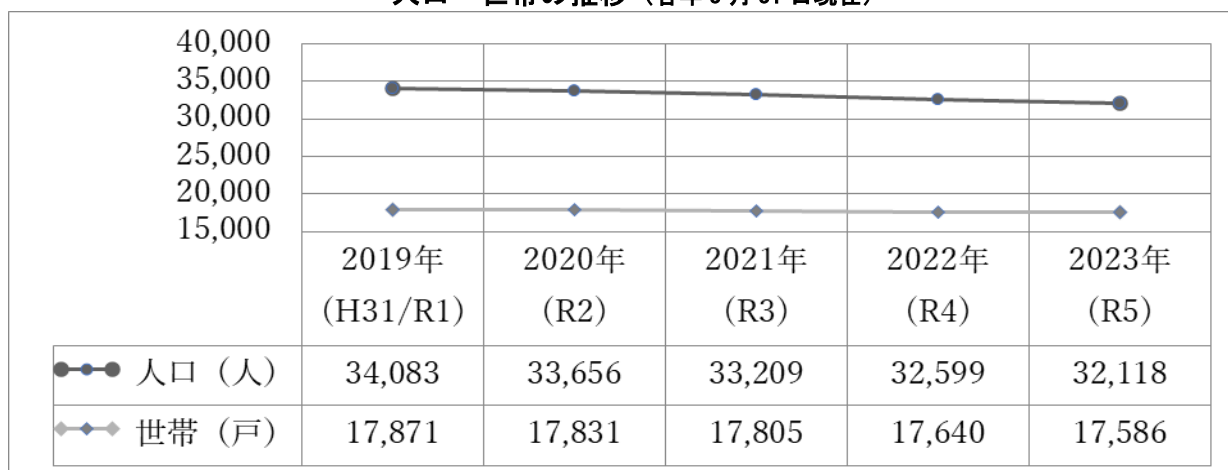
第1 人口・世帯

1 人口・世帯

伊達市の人口は、2000年（平成12年）までは増加傾向にありましたが、それ以降は減少傾向にあり、2023年（令和5年）3月31日現在で32,118人となっています。長期の人口減少過程に入った状況で依然として少子・高齢化が進んでおり、今後も減少すると予想されます。

世帯数についても微減傾向が続いており、今後も同様の傾向が続くと思われます。

人口・世帯の推移（各年3月31日現在）

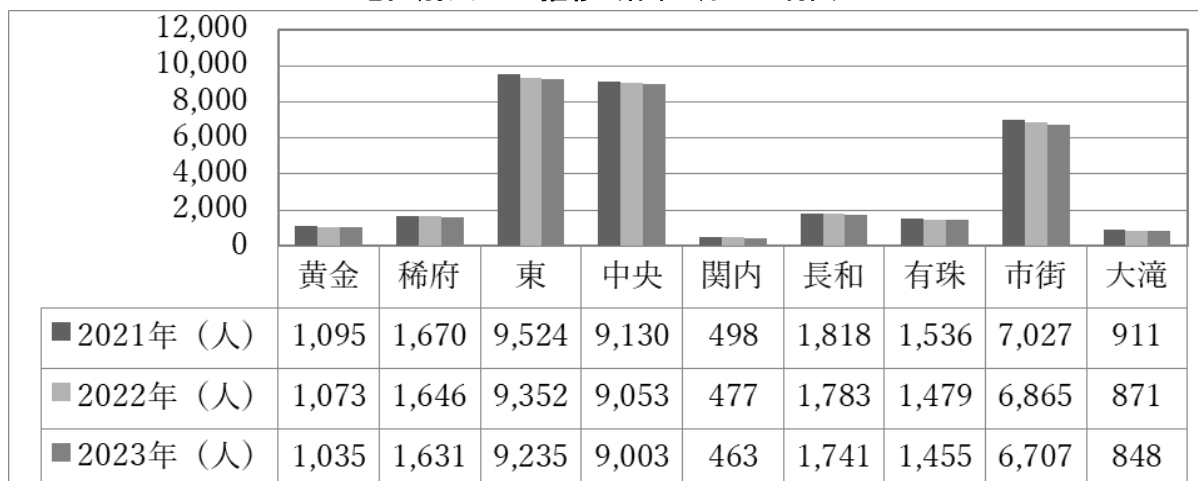


〈資料〉住民基本台帳

2 地区別人口

地区別の人口推移は、全地区で微減傾向を示しております。

地区別人口の推移（各年3月31日現在）

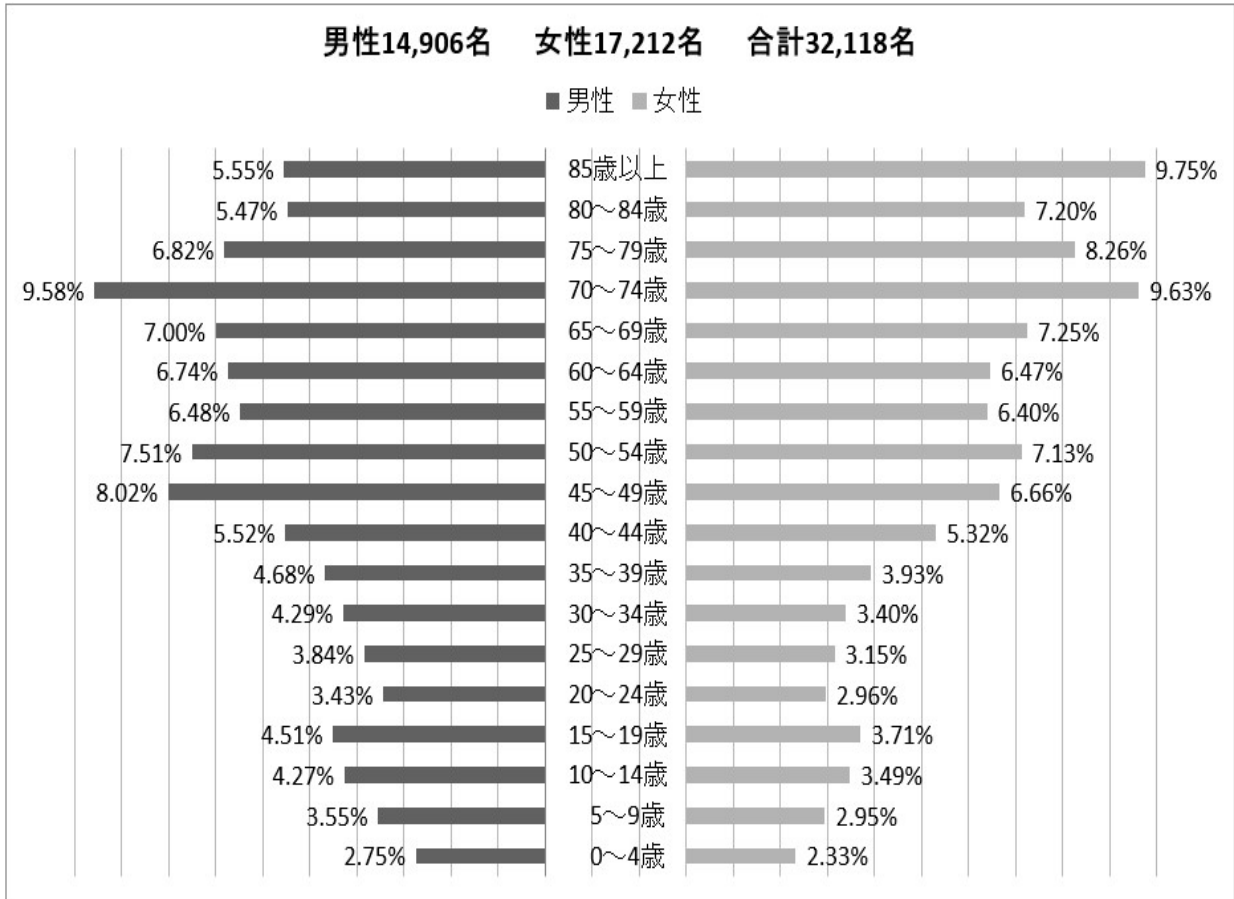


〈資料〉住民基本台帳

3 年齢別人口

年齢別の人口は、男性は70～74歳が1,428人で9.58%、女性は85歳以上が1,679人で9.75%と最も多くなっています。

5歳階層別・男女別の人口構成割合（2023年3月31日現在）

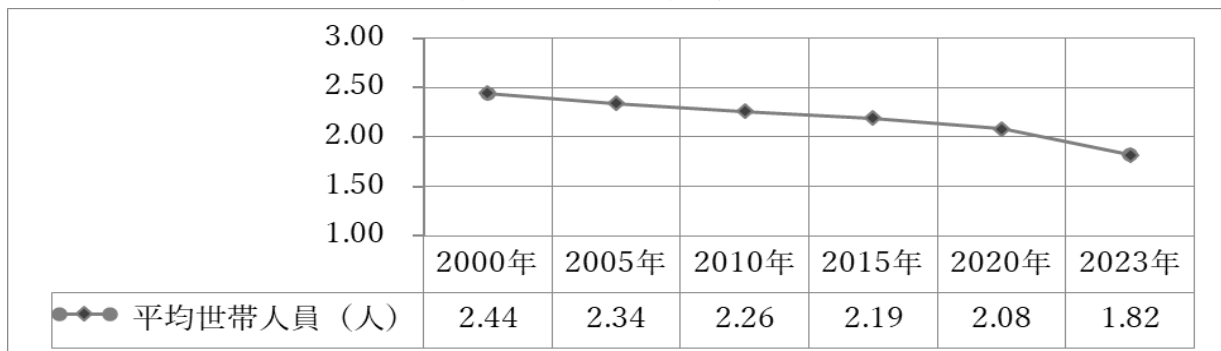


〈資料〉住民基本台帳

4 世帯構造

核家族化や少子化が依然として進んでおり、1世帯当たり平均世帯人員は年々減少傾向にあります。

1世帯当たり平均世帯人員の推移



〈資料〉国勢調査の一般世帯数（2023年は住民基本台帳）

第2 社会福祉施設

伊達市の主な社会福祉施設などの状況は、次のとおりです。

主な社会福祉施設等一覧

| 1 高齢者関係施設 | | | |
|---------------------------------|--|--|---|
| 事業名 | 施設名 | 箇所数計32 | |
| 養護老人ホーム | 潮香園 | 1 | |
| 特別養護老人ホーム | 喜楽園 ひまわり サテライトひまわり なごみの里 おおたきの杜 | 5 | |
| 有料老人ホーム（特定施設） | チエロだて さらさ伊達 | 2 | |
| ケアハウス | 伊達ぶらいむ館 クアリゾート 453 セイントヒルズ | 3 | |
| デイサービスセンター | 喜楽園 ひまわり つくし セイントヒルズ ともあれ きたえるーむ 心温 パライソ | 8 | |
| 在宅介護支援センター | ひまわり 北湯沢 | 2 | |
| 介護老人保健施設 | プライムヘルシータウン湘南 セイント・ヴィレッジ | 2 | |
| 介護医療院 | セイント・ヴィレッジ | 1 | |
| デイケアセンター | プライムヘルシータウン湘南 ソエル おりーぶ | 3 | |
| グループホーム | アウル こもれび ねねむ 桜香 SORA | 5 | |
| 2 障がい者関係施設 | | | |
| 事業名 | 施設名 | 箇所数計36 | |
| 障害者支援施設 | 優徳荘 大滝学園 伊達リハビリセンター 太陽の園 | 4 | |
| 障害福祉サービス事業所 （訪問、相談支援サービスを除く） | 生活介護 | 優徳荘 伊達リハビリセンター 大滝学園 太陽の園 ワークセンターえるむ ふみだす 第2ふみだす 喜楽園 | 8 |
| | 短期入所 | 優徳荘 大滝学園 伊達リハビリセンター 太陽の園 サポートじゃんぷ あかり i・box | 7 |
| | 共同生活援助 | だて地域生活支援センターらいむ・ぴいす・ ぷらす・らいと ゆうゆう サポートじゃんぷ | 6 |

| | | | |
|-------------------|----------------|--|--------|
| | 宿泊型自立訓練 | i・box 旭寮 | 2 |
| | 自立訓練 (生活訓練) | i・box | 1 |
| | 就労継続 支援A型 | 伊達の風 | 1 |
| | 就労継続 支援B型 | ワークセンターえるむ ふみだす 伊達の風 第2ふみだす i・box 言泉学園湘南しいたけ まめた | 7 |
| 3 障がい児関係施設 | | | |
| 事業名 | | 施設名 | 箇所数計10 |
| 障害児入所施設 | | 太陽の園 | 1 |
| 障害児通所 支援事業所 | 放課後等デ イサービス | あいあいROOM まあぶる まあぶるキッズ ほみいくらぶだて | 4 |
| | 児童発達 支援 | あいあいROOM まあぶる まあぶるキッズ ほみいくらぶだて | 4 |
| 児童心理治療施設 | | バウムハウス | 1 |
| 4 児童福祉施設 | | | |
| 事業名 | | 施設名 | 箇所数計25 |
| 保育所 | | ふたば保育所 ひまわり保育所 つつじ保育所 くるみ保育所 伊達保育所 うす保育所 大滝保育所 虹の橋保育園 | 8 |
| 児童厚生施設 | | 旭町児童館 なないろ児童館 山下町児童館 | 3 |
| 子育て支援センター | | えがお おひさま くろーばー | 3 |
| 放課後児童クラブ | | うめのこ さくら あやめ 第1やまびこ 第2やまびこ 第3やまびこ ほしのこ かぜのこ きたのこ ながわ おおたき | 11 |
| 5 その他の施設 | | | |
| 事業名 | | 施設名 | 箇所数計6 |
| 生活館 | | 有珠生活館（通称：オタサム） | 1 |
| 相談支援事業所 | | 伊達市障がい者総合相談支援センター「あい」 胆振圏域障がい者総合相談支援センター「るびなす」 どんぐりころころ 伊達市地域包括支援センター 相談支援事業所ハンド | 5 |

〈資料〉伊達市健康福祉部

第3 民生委員・児童委員

伊達市民生委員児童委員協議会（以下「民児協」という。）の定員数は、民生委員・児童委員78名と主任児童委員10名（各地区2名）の計88名となっています。また、民児協は5つの地区に組織され、4つの部会を組織し活動しています。

民生委員・児童委員の相談・支援件数及び活動件数は下図のとおりで、相談・支援は日常的な支援に関することが多く、活動においては調査・実態把握、民児協の運営・研修が多い状況となっています。

民生委員・児童委員数（2023年度）

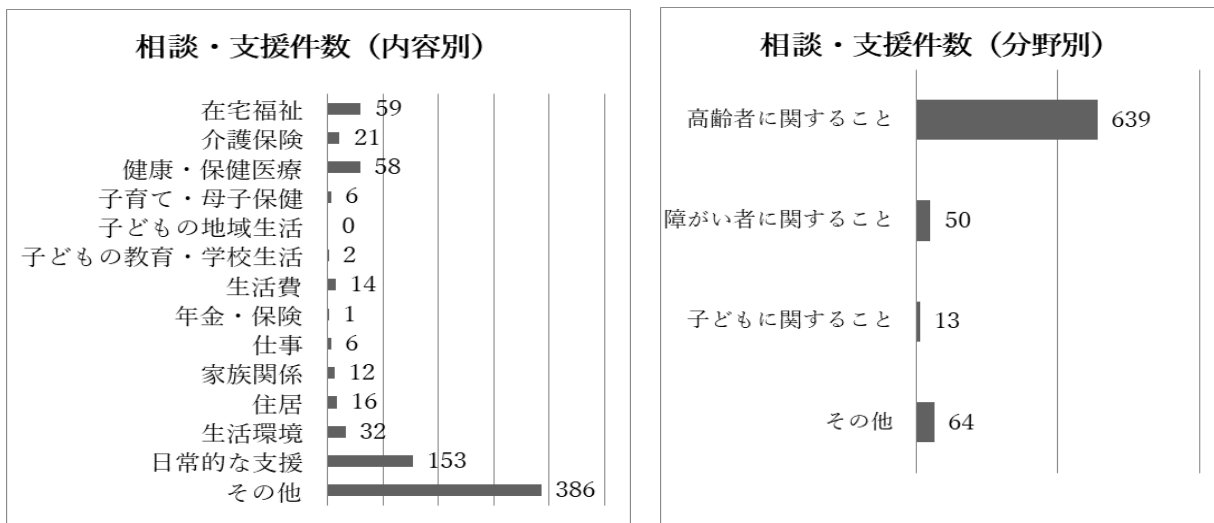
| 地区 | 委員数 |
|---------|-----|
| 東地区民児協 | 20名 |
| 南地区民児協 | 20名 |
| 北地区民児協 | 17名 |
| 西地区民児協 | 20名 |
| 大滝地区民児協 | 9名 |
| 合計 | 86名 |

部会等

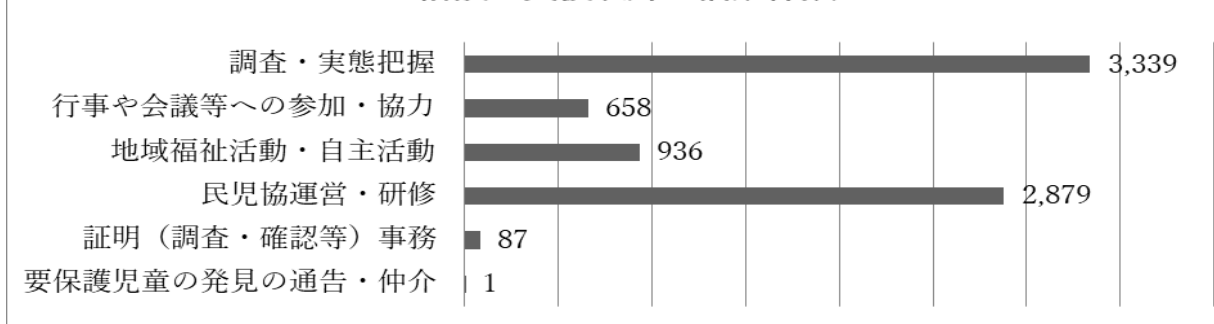
| |
|----------|
| 高齢者部会 |
| 児童部会 |
| しんしょう者部会 |
| 広報委員会 |

（令和6年3月現在）

2022年度民生委員・児童委員の相談等活動状況



相談・支援以外の活動件数



〈資料〉伊達市健康福祉部

第4 社会福祉協議会

社会福祉協議会は、地域住民やボランティア、福祉、医療、教育などの関係者や行政機関の参加・協力のもと、地域の方々が住み慣れたまちで安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の実現を目指した様々な活動を行い、地域福祉の推進に取り組んでいます。社会福祉協議会は民間団体ですが、社会福祉法に位置づけられています。

（市町村社会福祉協議会、都道府県社会福祉協議会及び政令指定都市の区社会福祉協議会、全国社会福祉協議会）

また、本市では連合自治会を単位として、地区社会福祉協議会が市内12地区に設置されています。

地区社会福祉協議会は、地域内の自治会などの地縁組織を中心とした各分野の団体や住民の皆さんにより構成されており、身近な住民福祉活動の基盤として、地域の生活課題や困りごとに対応し、住民の支えあいによる住みよい地域づくりを進めています。

伊達市社会福祉協議会の主な活動

1 みんなで支える地域づくり

地区社会福祉協議会やその構成員である※1福祉委員が活動しやすい土壌づくりや事業実施のきっかけづくりなどを行うことにより、活動の推進に取り組んでいます。

また、市民自らの力によるコミュニティづくりへの支援や、年齢、性別、障がいの有無などに関わらず、すべての人が積極的に社会参加できる機会の提供を図っています。

2 地域福祉の担い手づくり

地域住民が積極的にボランティア活動に参加できる取組を進めるとともに、ボランティア活動や市民活動を担う人材の発掘・育成に努めています。

また、ボランティアに関する情報の収集と発信、各関係団体などとの連携を強化し、ボランティアセンターの機能の充実を図り、やりがいのある活動の場の提供を進めています。

さらに、大規模災害が発生した場合は「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、ボランティアの受け入れや調整を行い、ニーズを把握し、被災者支援に取り組みます。

3 その人らしい生活を支えるための福祉サービスの提供

多様化・複雑化した課題に対応するために、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される※2地域包括ケアシステムを構築し、行政をはじめとした関係機関や地域の組織などと連携しながら総合的な支援の体制づくりを進めていきます。

また、総合的な相談窓口の役割を担い、多様なニーズに対応した福祉サービスを提供していきます。

4 地域に信頼される運営のための組織づくり

社協だよりやホームページなどを通して、地域への情報を定期的に発信し、活動や地域福祉への理解・協力の意識啓発に取り組んでいます。

また、地域住民や各種団体の運営支援、地域福祉の充実発展に功績のあった個人や団体への表彰などを通して、市内の福祉活動のさらなる促進を図っています。

第5 自治会

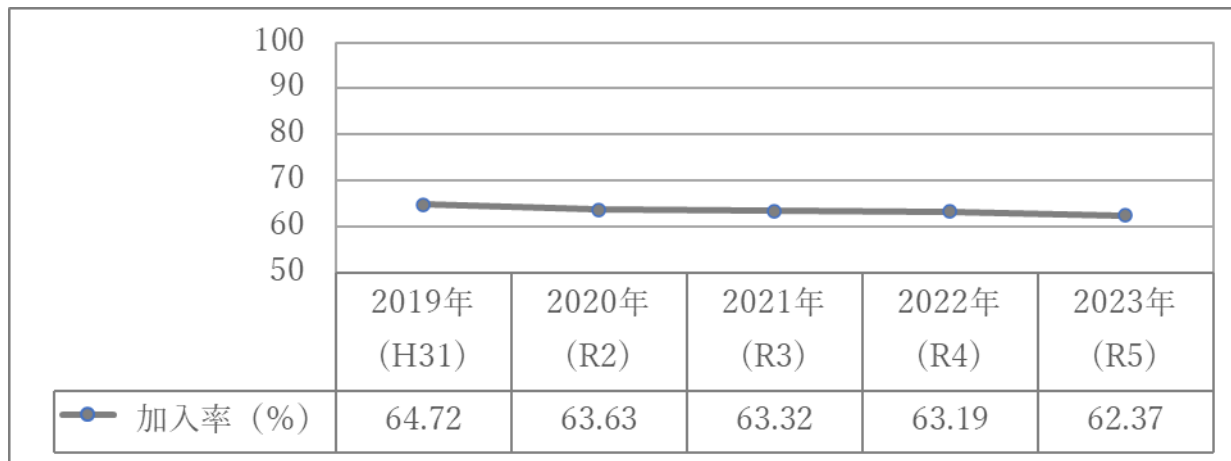
本市では、自治会活動や市民活動が活発に行われていますが、近年における人口の減少や市民意識の変化などにより、自治会の加入率は年々低下傾向にあります。

2023年（令和5年）では、62.37%となっています。

自治会は、身近な地域の支えあい活動や災害時における※3 避難行動要支援者情報の把握・収集など地域の様々な生活課題に取り組んでいます。

$$\left(\frac{\text{自治会加入世帯数}}{\text{住民基本台帳世帯数}} \right)$$

自治会加入率の推移（各年4月1日現在）



〈資料〉伊達市総務部

- ※1 福祉委員：地域において、福祉問題の発見や福祉情報の伝達、近隣の協力者の開拓や近隣住民と当事者の結びつけなど、自治会役員や民生委員・児童委員と協力して要支援者見守り活動や地域生活支援活動を行う協力者で、社会福祉協議会から委嘱されている人
- ※2 地域包括ケアシステム：高齢になっても住み慣れた地域で生活続けることができるよう「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」「住まい」という5つのサービスを不自由なく一体的に提供する地域の支援体制のこと。
- ※3 避難行動要支援者：高齢者や障がい者のうち、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な人で、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を必要とする人

第6 ボランティア・NPO

市内のボランティア活動状況については、2019年度（平成31年度）から2022年度（令和4年度）まで少しずつ減少傾向にあります。

NPO法人登録数は、全道的に増加の一途をたどっており、本市においても微増傾向にあります。

市内のボランティア登録団体数

（団体）

| | 2019年度 （平成31/令和元） | 2020年度 （令和2） | 2021年度 （令和3） | 2022年度 （令和4） | 2023年度 （令和5） |
|-----|----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 団体数 | 42 | 38 | 36 | 33 | 34 |

〈資料〉伊達市社会福祉協議会

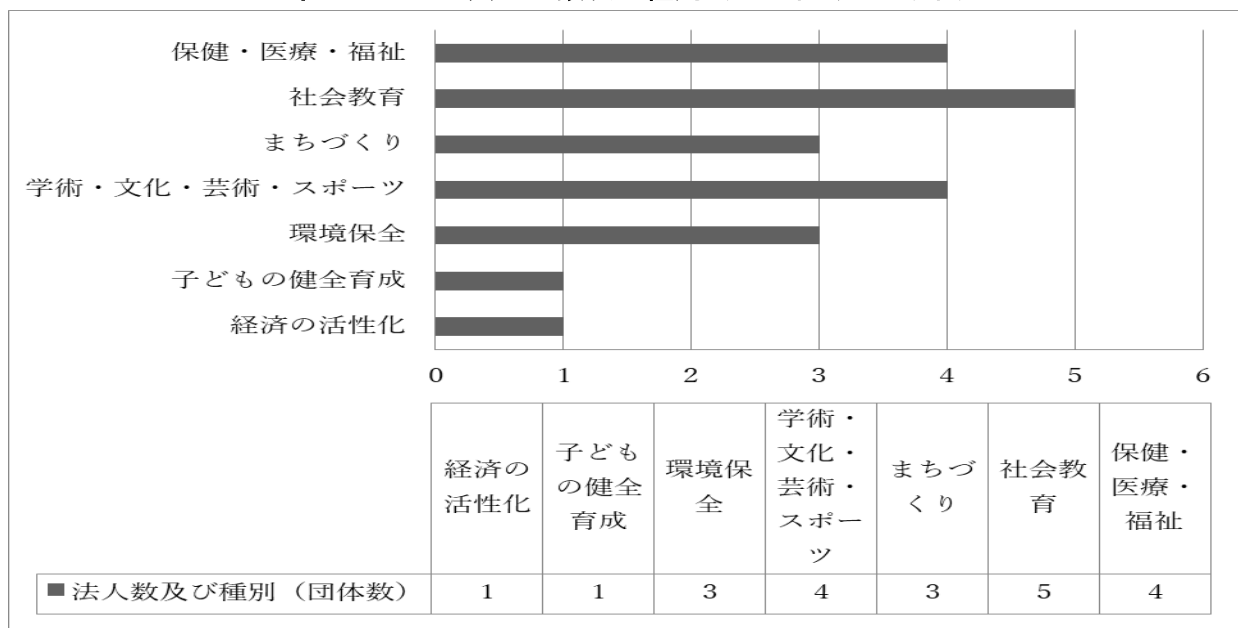
道内・市内のNPO法人登録数

（団体）

| | 2019年度 （平成31/令和元） | 2020年度 （令和2） | 2021年度 （令和3） | 2022年度 （令和4） | 2023年度 （令和5） |
|------|----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 北海道内 | 1,990 | 2,047 | 2,107 | 2,171 | 2,226 |
| 伊達市内 | 18 | 18 | 19 | 20 | 21 |

〈資料〉北海道環境生活部、伊達市総務部

市内のNPO法人の数及び種別（2023年4月1日現在）



〈資料〉伊達市総務部